

「西東京市第3次基本構想・基本計画案 中間のまとめ」  
パブリックコメント実施結果及び意見概要

「西東京市第3次基本構想・基本計画案 中間のまとめ」に対するパブリックコメントを下記のとおり実施いたしました。

実施期間 令和5年6月1日（木）～ 令和5年6月30日（金）  
意見件数 81件（23名）

1 内 訳

西東京市第3次基本構想・基本計画案 中間のまとめ

分 類		件数
基本構想		21
基本計画総論		4
基本計画各論	基本目標1 みんなでつくるまち	1
	基本目標2 子どもが健やかに育つまち	4
	基本目標3 笑顔で自分らしく暮らせるまち	0
	基本目標4 環境にやさしい持続可能なまち	10
	基本目標5 安全で安心して快適に暮らせるまち	13
	基本目標6 活力と魅力あるまち	4
その他		24
合計		81

2 検討結果の公表 8月

パブリックコメント一覧

①意見交換を行った上で取り扱いの方向性を確認していただきたいもの

No.	分類（対象部分）		視点	提出意見（全文）	意見概要	回答案（事務局整理）
1	基本構想	基本理念	「自分ごと」の表現について	まちづくりの課題はもっときちんと表現したうえで、その対応策や考え方をこの機会に私たち市民等に示さないと、合併当時からの課題とそれを踏まえて、市の目指している方向をこの際きちんと表現してほしいと思います。また、「自分ごと」という表現は押しつけ感があり、良い印象がありません。	まちづくりの課題はもっときちんと表現したうえで、その対応策や考え方をこの機会に私たち市民等に示さないと、合併当時からの課題とそれを踏まえて、市の目指している方向をこの際きちんと表現してほしいと思います。また、「自分ごと」という表現は押しつけ感があり、良い印象がありません。	基本構想「5. まちづくりの課題と基本施策」において、まちづくりの課題と、計画期間（10年間）で取り組むべき15の基本施策を位置づけるとともに、各施策の課題や取組については、基本計画（各論）において整理しています。 また、市を取り巻く社会経済情勢の変化や多様化、複雑化する課題に対し、さまざまな主体がともに課題に向き合い、変化や危機に対して柔軟に対応していくことが求められており、市民一人ひとりが、市の未来を「自分ごと」として捉え、主体的にまちづくりに関わり、責任を持って次世代へとつないでいく必要があると考えています。
2	基本構想	基本理念	「基本構想」の考え方について	当市の平成16年に作成されている基本構想および平成26年度からの基本構想との違い、反省点・見直し点などを明らかにする必要がある。そのうえで第3次基本構想があるのではないか。	当市の平成16年に作成されている基本構想および平成26年度からの基本構想との違い、反省点・見直し点などを明らかにする必要がある。そのうえで第3次基本構想があるのではないか。	第3次基本構想では、第1次及び第2次基本構想の基本理念に込めた、お互いを思いやり尊重できる「やさしさ」や、人と人との「ふれあい」を継承しつつ、だれもが住み続けたいと思える西東京市であることが必要と考えています。 一方、市を取り巻く社会経済情勢の変化や、多様化・複雑化する課題に対し、さまざまな主体がともに課題に向き合い、変化や危機に対して柔軟に対応していくことが求められており、市民一人ひとりが、市の未来を「自分ごと」として捉え、主体的にまちづくりに関わり、責任を持って次世代へとつないでいく必要があると考え、第3次総合基本構想の基本理念を「ともにみらいにつなぐ やさしさといこいの西東京」としています。 この基本理念をもとに、市民とともに整理したこれからのまちづくりに求められる6つの基本的な視点を礎として第3次基本構想を策定しました。また、市民とともにまちづくりを進めるとの考えから、計画の構成や表現などを見直し、分かりやすさや伝わりやすさを重視して作成しました。
3	基本構想	基本施策9	「屋敷林」の表現について	p.8 基本目標4の記述では屋敷林に触れられていますが、基本施策9で屋敷林の保全と活用を進めていくことを明記すべきです。公園や緑地の創出にお金と時間をかけるよりも、現存するみどりを保全し、活用する方法を考えるべきではないでしょうか。	基本目標4の記述では屋敷林に触れられていますが、基本施策9で屋敷林の保全と活用を進めていくことを明記すべきです。	屋敷林については、基本目標において身近なみどりとして認識しています。保全・活用についての取組は、「施策9-1 みどりの保全・活用」でまとめていますが、現状では施策の中での表現として「公園や農地などのみどり」に含めて取り組むこととしています。 表現方法等につきましてはご意見を踏まえ検討します。
4	基本計画 総論	3計画の指標	「計画の指標」について	2. 西東京市第3次基本構想・基本計画について 現在の状況、将来の見通しがわかるような内容を追加するべきである。皆が現在の状況を把握し、共通理解していなければ、課題を見極め、適切な課題解決への方法へと繋がらない。わかりやすい資料であることも求める。第7次府中市総合計画（令和4年度～令和11年度）の序論（社会の潮流と課題、人口動向と将来の見通し、財政状況と将来の見通し）6～23ページのようにしてほしい。人口ピラミッドは必須である。	現在の状況、将来の見通しがわかるような内容を追加するべきである。皆が現在の状況を把握し、共通理解していなければ、課題を見極め、適切な課題解決への方法へと繋がらない。人口ピラミッドなどを示し、わかりやすい資料であることも求める。	基本構想における「5. まちづくりの課題と基本施策」において、まちづくりの現状や課題を整理しています。 また、基本計画における「3. 計画の指標」において、令和4年度に実施しました「人口推計調査」をもとに、人口の推移についてお示しをしています。今後、各施策における取組内容を整理する中で、財政状況や財政見通しを追記する予定です。
5	その他		「市民参加」の方法について	5年前の、総合計画見直しの際、計画段階からの市民参加が打ち出されたにもかかわらず、今回の基本構想・基本計画検討では、実施されなかった。三鷹市のような、大規模（1,800人）無作為抽出によるワークショップへの参加、というような手法があつてしかるべきであった。20万都市であれば、2,000人規模の無作為抽出による広範な市民の議論への参加呼びかけが望ましかった。当市が無作為抽出を実施しているのは、意識調査だけであり、市民参加が実行されていない。したがって、コンサルが代わり映えない言葉を並べるだけで、陳腐である。行政が無関心層を巻き込む積極的な市民参加の手法を試みなければ、市民の参加意識は高まらない。第3次総合計画に、改めて、計画段階からの市民参加の必要性を書き込むべきである。	5年前の、総合計画見直しの際、計画段階からの市民参加が打ち出されたにもかかわらず、今回の基本構想・基本計画検討では、実施されなかった。20万都市であれば、2,000人規模の無作為抽出による広範な市民の議論への参加呼びかけが望ましかった。当市が無作為抽出を実施しているのは、意識調査だけであり、市民参加が実行されていない。したがって、コンサルが代わり映えない言葉を並べるだけで、陳腐である。行政が無関心層を巻き込む積極的な市民参加の手法を試みなければ、市民の参加意識は高まらない。第3次総合計画に、改めて、計画段階からの市民参加の必要性を書き込むべきである。	本計画の策定にあたりましては、市民意識調査や中学生アンケート、企業・団体ヒアリングを実施するとともに、西東京市のミライを語るシンポジウム（オンライン開催を含む）、子ども・市民ワークショップなどを通じて、西東京市の将来を担う子ども・若者をはじめとした、多くの市民に関わっていただいています。 まちづくりを進める上では、多くの市民に関わっていただく必要があると認識しており、「基本施策1 一人ひとりがいきいきと輝くまちを実現するために」の中で、情報提供やコミュニティの活性化を位置づけています。 また、市民参加の必要性につきましても、「施策1-2 協働のまちづくりの推進」で市民がまちづくりに参画できる仕組みづくりの充実を位置づけました。

No.	分類（対象部分）	視点	提出意見（全文）	意見概要	回答案（事務局整理）
6	その他	「公助」「共助」の考え方について	<p>第三次基本構想・中間まとめを拝見しました。感じたことは「共助」一辺倒であったことです。行政が行う計画ですので「公助」が中心となるべきものが「市民みんなで」という文言が占めること、「地域協力ネットワーク」などなど、地域の市民の力を活用し、市民の社会参加を重視しています。しかし、共助や自助に舵を切る前に、行政の方針についてでありますので「公助」をいかに組み立てるのかを提示するべきであると思われま</p> <p>す。市の職員も非正規職員が増えて、行政の力も弱まっていることと</p> <p>思います。行政サービスのアウトソーシング、民営化もどんどん進んでい</p> <p>るよ</p> <p>うに危惧しています。その内すべて企業任せで行政そのものがなくなって</p> <p>しまうのではないかと心配です。公的な役割は公的な機関しか担えない面</p> <p>は大きく、国の方針はいずれであっても、ただそれに乗るだけではなく地</p> <p>方自治としての主体性をもって、行政機能を充実し、正規職員を増やし、</p> <p>民営化に歯止めをかけるとすれば、もう後戻りするギリギリのところにい</p> <p>るのではないかと思います。「共助」にひたすらウエイトを置く、市民力</p> <p>の活用ばかりでは、行政サービスは回らないのではないのでしょうか。</p>	<p>行政が行う計画ですので「公助」が中心となるべきものが、「共助」一辺倒であったことです。共助や自助に舵を切る前に、行政の方針についてありますので「公助」をいかに組み立てるのかを提示するべきであると思われ</p> <p>ます。市の職員も非正規職員が増えて、行政の力も弱まっていること</p> <p>と</p> <p>思います。行政サービスのアウトソーシング、民営化もどんどん進んで</p> <p>い</p> <p>るよ</p> <p>うに危惧しています。公的な役割は公的な機関しか担えない面は大</p> <p>きく、国の方針はいずれであっても、地方自治としての主体性をもって、</p> <p>行政機能を充実し、正規職員を増やし、民営化に歯止めをかけるとすれ</p> <p>ば、もう後戻りするギリギリのところにいるのではないかと思います。</p> <p>「共助」にひたすらウエイトを置く、市民力の活用ばかりでは、行政サ</p> <p>ービスは回らないのではないのでしょうか。</p>	<p>第3次基本構想では、社会経済情勢の変化や多様化、複雑化する課題に対</p> <p>し、さまざまな主体がともに課題に向き合い、変化や危機に対して柔軟に</p> <p>対応していくことが求められており、市民一人ひとりが、市の未来を「自</p> <p>分ごと」として捉え、主体的にまちづくりに関わり、責任を持って次世代</p> <p>へとつないでいく必要があると考えています。</p> <p>このため、第3次総合基本構想の基本理念を「ともにみらいにつなぐ や</p> <p>さしきといこいの西東京」とし、「ともに」の意味の中に、市民、市民活</p> <p>動団体、事業者や行政等のさまざまな主体が、手を携えて協力してまちづ</p> <p>くりを進めることの想いを込めています。</p> <p>このため、今後のまちづくりを進めるためには、「公助」「共助」ともに</p> <p>大切な要素であると考えています。</p>
7	その他	「学校給食」の記載について	<p>学校給食の無償化を求める決議が、第1回定例市議会で可決されました。</p> <p>地方自治体の最高の意思決定機関である市議会が議決したのだから、執行</p> <p>機関の市長はそれを尊重し、予算措置をするべきです。この基本構想・基</p> <p>本計画の中でどう位置づけるのか示すべきだと思います。</p>	<p>学校給食の無償化を求める決議が、市議会で可決されました。執行機関の</p> <p>市長はそれを尊重し、予算措置をするべきです。この基本構想・基本計画</p> <p>の中でどう位置づけるのか示すべきだと思います。</p>	<p>学校給食の無償化につきましては、「基本施策5 安心して子どもを産み</p> <p>育てるために」の「施策5-1 子育て支援の充実」における包括的な支援</p> <p>のひとつと考えています。なお、無償化につきましては、継続的に取り組</p> <p>むことが大切であり、財源の経常的な確保等の課題があると認識してい</p> <p>ます。</p>

パブリックコメント一覧

②①以外で事務局において考え方を整理するもの（報告のみ）

No.	分類（対象部分）		提出意見（全文）	意見概要
8	基本構想	全般	全体的に「ぼわー」とした基本構想と思います。西東京市の良いところ、課題が本当にわかっている皆さんがかかわっているとは思えません。どのような西東京市を目指すのか、合併後20年以上経っているのですからもう少し具体的なイメージ等描けないのでしょうか。トップの市長はどこに力を入れてまちづくりを進めたいのでしょうか。いずれにしても、西東京市ならではの基本構想を描いてほしいと思います。	全体的に「ぼわー」とした基本構想と思います。どのような西東京市を目指すのか、合併後20年以上経っているのですからもう少し具体的なイメージ等描けないのでしょうか。市長はどこに力を入れてまちづくりを進めたいのでしょうか。いずれにしても、西東京市ならではの基本構想を描いてほしいと思います。
9	基本構想	策定の趣旨	3. 6つの基本的な視点について たからは地域への誇りや愛着を育むというよりは、たからを大切に、生かす、守るという方がしっくりくる。いいと思っているところが壊されていっている、守られていないと最近急激に感じるようになった。市民それぞれがいいと思っただけがあると思う。一度失われたらもとに戻すことは困難なものもある。特に自然環境、みどりの環境はそのひとつであり、西東京市のたからのひとつだと思っただけ。個人や市民の力だけではどうにもならないこともある。市の方針として効果的な施策の役割は大きいと思う。	「たから」は地域への誇りや愛着を育むというよりは、たからを大切に、生かす、守るという方がしっくりくる。一度失われたらもとに戻すことは困難なものもある。特に自然環境、みどりの環境はそのひとつであり、西東京市のたからのひとつだと思っただけ。個人や市民の力だけではどうにもならないこともある。市の方針として効果的な施策の役割は大きいと思う。
10	基本構想	策定の趣旨	らしさは西東京市らしさ、それぞれの地域らしさも視点に加えてほしい。そのらしさを大切にまちづくりを進めてほしい。西東京市らしさを大切に、生かしてほしい。どこにでもあるようなまちに変えていかないでほしい。	「らしさ」は西東京市らしさ、それぞれの地域らしさも視点に加えてほしい。そのらしさを大切にまちづくりを進めてほしい。西東京市らしさを大切に、生かしてほしい。どこにでもあるようなまちに変えていかないでほしい。
11	基本構想	策定の趣旨	いきがいは見出せるという視点も大事だと思うが、それぞれがそれぞれにとってのいきがいがあり、好きなこと、やりたいことなどもそれぞれあると思う。それができる、できることが増えるという視点もあってほしいと思う。	「いきがい」は見出せるという視点も大事だと思うが、それぞれがそれぞれにとってのいきがいがあり、好きなこと、やりたいことなどもそれぞれあると思う。それができる、できることが増えるという視点もあってほしいと思う。
12	基本構想	基本理念	4. 基本理念について 基本理念は望みや願いではなく、考えとして書いた方がいいのではないか。西東京市としてどうしていくのか、その考えを表す部分ではないのか。望む、願う、求められているのではなく、まちづくりをこのように推進していきますと書いた方がいいと思う。「身近に残る豊かな自然環境や歴史や文化芸術、安らぎを感じられる落ち着いた住環境を守り、だれもが住み続けたいと思える西東京市であることを願います。」ではなく、ぜひ、そのようなまちづくりをすすめていっていただきたい。府中市の総合計画の基本理念にある、「時代や環境の大きな変化にも柔軟に対応し、お互いが連携・協力して地域の課題に取り組む、協働によるまちづくりを推進していきます。」という書き方もいいと思う。	基本理念は望みや願いではなく、考えとして書いた方がいいのではないか。西東京市としてどうしていくのか、その考えを表す部分ではないのか。望む、願う、求められているのではなく、まちづくりをこのように推進していきますと書いた方がいいと思う。
13	基本構想	基本目標	5. 基本目標について 子どもだけが大きく前に出ていることに西東京市の10年後の将来への不安がよぎる。20年前から最近まで社会全体が高齢者を優先した取組みが行われ、他の世代にあらゆるしわ寄せがいき、今、様々な深刻な問題となって湧き出ている。どの世代もそれぞれに合った施策、サポート、資金配分などをしなければ、結果的に成り立たない社会になる。子どもも少なくなり、人口も減っていく。そして子どもも幸せでなくなる。なぜなら、子どもの周りには様々な世代がいて、それぞれが影響しあっているのだから。どの世代も大切に、誰もが幸せであるまちづくりをすすめてほしい。どの世代も取り残さない、だれ一人取り残さないまちであるようにすすめてほしい。そして、市民として、どこかの世代だけを優先した政策を求めるようなことはしてはならないと思う。	子どもだけが大きく前に出ていることに西東京市の10年後の将来への不安がよぎる。どの世代もそれぞれに合った施策、サポート、資金配分などをしなければ、結果的に成り立たない社会になる。子どもも少なくなり、人口も減っていく。そして子どもも幸せでなくなる。どの世代も取り残さない、だれ一人取り残さないまちであるようにすすめてほしい。そして、市民として、どこかの世代だけを優先した政策を求めるようなことはしてはならないと思う。

No.	分類 (対象部分)		提出意見 (全文)	意見概要
14	基本構想	基本目標 1	基本目標① 市の地域課題解決には、市の担当者・いろいろな立場の市民が意見交換・交流が欠かせません。まず問題の所在を明らかにし互いに理解することが大前提になります。 市が音頭を取り100人規模の話し合いの場を設定して下さい。 それぞれのまち年齢層、活動グループとか誰でも参加することにより、自分たちのまちの課題、どうすればいいか理解でき、みんなで協力する下地が出来ます。	市の地域課題解決には、市の担当者、いろいろな立場の市民が意見交換・交流が欠かせません。まず問題の所在を明らかにし互いに理解することが大前提になります。 市が音頭を取り100人規模の話し合いの場を設定して下さい。 それぞれのまち年齢層、活動グループとか誰でも参加することにより、自分たちのまちの課題、どうすればいいか理解でき、みんなで協力する下地が出来ます。
15	基本構想	基本目標 1	「基本目標1」の行政の記載内容も基本目標の初めに書かれる内容なのか疑問です。「そのために」以下の文章はなんだろう。行政組織云々は、計画を実行するためにどうにでもなるものと思いますので、もっと市民や関係団体との協働を今以上に進めるための方向づけができるような目標の描き方をしてもらいたいです。他にも、民間事業所、特に飲食店等がチェーン店しか生き残れないような街にはなってほしくないとか、緑が減ってきているのでその対策とか書かれていますが、具体的にはどうするのか。中間のまとめなので、この先どのように加筆されるか楽しみにしています。市役所職員の腕の見せ所なので、コンサル任せにならないように、市民の目線で計画策定をお願いします。	「基本目標1」の行政の記載内容は、基本目標の初めに書かれる内容なのか疑問です。行政組織云々は、計画を実行するためにどうにでもなるものなので、市民や関係団体との協働を今以上に進めるための方向づけができるような目標の描き方をしてもらいたいです。 具体的な対策について、この先どのように加筆されるか楽しみにしています。市役所職員の腕の見せ所なので、コンサル任せにならないように、市民の目線で計画策定をお願いします。
16	基本構想	基本目標 1	6. まちづくりの課題と基本施策及び各施策の現状と課題と取組内容について ①基本目標1について 健全で堅実な財政を行うことを求める。身の丈にあった財政を求める。予算に余裕のないときは大事なことに予算を使い、儉約につとめ、堅実な予算計画が必要である。贅沢なお金の使い方をできる状況にはないはずだ。職員、市民が自覚し、協力し、取り組んでいく必要があると思う。	健全で堅実な財政を行うことを求める。身の丈にあった財政を求める職員、市民が自覚し、協力し、取り組んでいく必要があると思う。
17	基本構想	基本目標 1	ハラスメントがなく、職員がいきいき仕事にとりくめる組織へ改めることを求める。成果指標に記載し、そのための具体策を入れてほしい。約50%の人がハラスメントを受けたことがある状況は放置してはならない。そして、ハラスメントをする人が部や課や係などの長になることがないようにしてほしい。さらに、市民と直接かかわる業務を行うことがないようにすることを求める。いきいきと働けない、違う意見を言いにくい、市民の意見を共有できないなど様々な問題がもたらされ、マイナスでしかない。そのような環境では、協力して課題を解決していくことなどできないのではないかな。	ハラスメントがなく、職員がいきいき仕事にとりくめる組織へ改めることを求める。成果指標に記載し、そのための具体策を入れてほしい。約50%の人がハラスメントを受けたことがある状況は放置してはならない。そして、ハラスメントをする人が部や課や係などの長になることがないようにしてほしい。さらに、市民と直接かかわる業務を行うことがないようにすることを求める。
18	基本構想	基本目標 1	また、問題や課題に対し、まずできない理由を考え、その理由を納得するまで説明をすることは無意味に思う。何が理由なのか、どうしたらいいのか、他に方法はないか、課題に対し解決していく思考、行動を求める。そのような人材を採用し、育てていくことを求める。	問題や課題に対し、まずできない理由を考え、その理由を納得するまで説明をすることは無意味に思う。何が理由なのか、どうしたらいいのか、他に方法はないか、課題に対し解決していく思考、行動を求める。そのような人材を採用し、育てていくことを求める。
19	基本構想	基本目標 1	市だけでできることは限られている。課題により、国や東京都とも連携、協力し、取り組んでほしい。対等でない、門前払い、となかなか物事が進まないこともあるかもしれない。課題解決のためにへこたれず、取り組んでほしい。また、そのような対応を市民にする市の職員に対し同じように感じている市民もいることを認識し、どうあるべきかを考え、行動変容へと繋げてほしい。そこから、よりよい協働が始まるのだと思う。言ってもしょうがない、嫌な思いをするからなるべく市役所とかかわりたくない、窓口に行きたくない、そんな市民を少しでも減らすように姿勢を改めなければ、協働も進んでいかないのではないかな。せっかく始めてもそれが理由でやめてしまう環境はもったいないと思う。	市だけでできることは限られている。課題により、国や東京都とも連携、協力し、取り組んでほしい。対等でない、門前払い、となかなか物事が進まないこともあるかもしれない。課題解決のためにへこたれず、取り組んでほしい。また、そのような対応を市民にする市の職員に対し同じように感じている市民もいることを認識し、どうあるべきかを考え、行動変容へと繋げてほしい。そこから、よりよい協働が始まるのだと思う。

No.	分類 (対象部分)		提出意見 (全文)	意見概要										
20	基本構想	基本目標 1	<p>持続可能な行政運営は、政府の言いなりに成らず、補助金交付金頼みの行政ではなく、そのことが市民の健康と人権が守られるのか、独自に判断すべきです。</p> <p>コロナワクチンにしても、市報に「接種は強制ではありません」と但し書きがあり、責任逃れでは、無いでしょうか？ 遺伝子組み換えワクチンは、2023年まで試験中の薬です。各国でも問題が出ており、現に後遺症や、重症化で苦しんでいる人たちがいます。</p> <p>全国的にもワクチンで2000人からの死亡、裁判も起こされています。</p> <p>6か月の赤ちゃんに迄接種。よく考えて、安全を確認してください。</p> <p>コロナに使ったお金</p> <table border="0"> <tr> <td>2020年度総額</td> <td>約28,859千円</td> </tr> <tr> <td>2021年度総額</td> <td>約3,060,050千円</td> </tr> <tr> <td>2022年度総額</td> <td>4～11月 約2,045,140千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>追加6か月から4才 約72,517千円</td> </tr> <tr> <td>2023年度予算</td> <td>約152,586千円</td> </tr> </table> <p>でしょうか？ このお金で、免疫力を保つ食事を提供すれば、どれだけのひとが救われたか？何より、免疫をつけておくのがどんな病気にも一番です。</p> <p>子ども食堂が賑わっていますが・・・大人の貧困、仕事がない・低賃金おまけにコロナ禍。杉並の岸本区長のお話では、区の臨時職員の給与を見直し経済を活性化の一助にという事です。市の職員さんも専門職やら臨時の方等本当に食べられる賃金ではないと思います。オマケに物件費で支払われているのですか？</p> <p>行政の無駄をなくすのは、結構ですが、人権は、市から守って下さい。</p>	2020年度総額	約28,859千円	2021年度総額	約3,060,050千円	2022年度総額	4～11月 約2,045,140千円		追加6か月から4才 約72,517千円	2023年度予算	約152,586千円	<p>持続可能な行政運営は、政府の言いなりに成らず、補助金交付金頼みの行政ではなく、そのことが市民の健康と人権が守られるのか、独自に判断すべきです。</p>
2020年度総額	約28,859千円													
2021年度総額	約3,060,050千円													
2022年度総額	4～11月 約2,045,140千円													
	追加6か月から4才 約72,517千円													
2023年度予算	約152,586千円													
21	基本構想	基本目標 2	<p>② 子供が健やかに育つまち</p> <p>文言は良いことづくめですが、まず親が、健康で仕事があること。</p> <p><u>親の支援から考え対処しなければなりません。</u>人権を守ること生活保護もし、困りごとにサポート出来るようにすること。</p> <p>今、若者に希望がありません。恐竜のように絶滅危惧種だと、あと何年持つかと？</p> <p>市独自の視点で、市民の人権・生活を守って頂きたいです。</p> <p>地方自治の本旨、(政府の言う通りでなく) <u>子供を守ることに繋がります。また子供の意見を聞く場を設けて下さい。</u>学校でも自分の頭で考え意見が言える様に、<u>自由な発言の場を保証してください。</u></p>	<p>文言は良いことづくめですが、まず親が、健康で仕事があること。親の支援から考え対処しなければなりません。</p> <p>市独自の視点で、市民の人権・生活を守って頂きたいです。子どもを守ることに繋がります。また子供の意見を聞く場を設けて下さい。学校でも自分の頭で考え意見が言える様に、自由な発言の場を保証してください。</p>										
22	基本構想	基本目標 2	<p>②基本目標2について</p> <p><u>安心して妊娠ができる環境を整えられるようにすることが必要だと思う。</u>妊娠してからがスタートではないのだから。結婚、妊娠を望んでいるにもかかわらず様々な理由であきらめた、あきらめざるを得ない人を取り残してはならない。社会全体で今の社会環境、職場環境、雇用環境など様々なことを整えていかなければ難しい課題だ。</p>	<p>安心して妊娠ができる環境を整えられるようにすることが必要だと思う。妊娠してからがスタートではないのだから。結婚、妊娠を望んでいるにもかかわらず様々な理由であきらめた、あきらめざるを得ない人を取り残してはならない。社会全体で今の社会環境、職場環境、雇用環境など様々なことを整えていかなければ難しい課題だ。</p>										
23	基本構想	基本目標 3	<p>③ 笑顔で自分らしく暮らせるまち</p> <p>健康応援都市</p> <p>健康づくりの第一は、歩ける街であること。歩くことが一番の健康づくり(長尾和弘医師) <u>安心して歩けるまちの条件は、歩道が整備されていること。</u>狭い道は、条例で建て替え時セットバックで、歩道を確保し、穴の開いたところは、木を植え椅子を用意すること。市民に責任者を決め花壇でも野菜でもよいことに。コミュニティの再生にもつながります。</p>	<p>健康づくりの第一は、歩ける街であること。安心して歩けるまちの条件は、歩道が整備されていること。</p>										

No.	分類 (対象部分)		提出意見 (全文)	意見概要
24	基本構想	基本目標 4	<p>③基本目標 4について  <u>西東京市には緑地や小さい公園が所々にあり、土の公園も多くすばらしいと思う。しかし、この場所を生かしていないことが残念でならない。管理が行き届かず、壊れたものはそのまま、さびたものばかり。人員が足りない、予算が足りない、と聞く。</u>  <u>コロナでよく街を歩くようになり、公園を見れば、西東京市と武蔵野市の境がわかるようになった。武蔵野市の公園はどの公園も違って、豊かな心地よい公園があり、管理が行き届いている。西東京市はみどりを大切にしている市なのにどうしてこのような状況になっているのだろうか。武蔵野市と何が違うのだろうか。西東京市の公園がみどりの心地よい町並みのひとつに加わるよう、人員、予算、組織なども含めた市全体で考える必要があるのではないか。必要性の高い道路以外の道路を新しく長期にわたってつくるより、こちらに予算を回す方が先なのではないか。西東京市のみどり全体を考え、取り組む体制はあるのだろうか。課題ごとに課をまたいで解決にむけて協力する体制はあるのだろうか。せつかく造園業をしているところが市内にいくつもあるのだから、活かしたら素晴らしいのではないかと思う。植物についても教えてもらえる機会があったらうれしい。東久留米市のように都と共に取り組み自然の素晴らしい場所や水辺を今に残す協力体制は素晴らしいと思う。西東京市も東大農場はそうにすすめ、豊かな自然をよりよい状態で後世に残せるように取り組んでほしい。課題に合わせて、市だけではなく、国、東京都、市、市民などで協力して取り組んでいくことを求める。</u></p>	<p>西東京市には緑地や小さい公園が所々にあり、土の公園も多くすばらしいと思う。しかし、この場所を生かしていないことが残念でならない。  西東京市の公園がみどりの心地よい町並みのひとつに加わるよう、人員、予算、組織なども含めた市全体で考える必要があるのではないかと。西東京市のみどり全体を考え、取り組む体制はあるのだろうか。課題ごとに課をまたいで解決にむけて協力する体制はあるのだろうか。東久留米市のように都と共に取り組み自然の素晴らしい場所や水辺を今に残す協力体制は素晴らしいと思う。西東京市も東大農場はそうにすすめ、豊かな自然をよりよい状態で後世に残せるように取り組んでほしい。課題に合わせて、市だけではなく、国、東京都、市、市民などで協力して取り組んでいくことを求める。</p>
25	基本構想	基本目標 6 活力と魅力あるまち	<p>基本目標 6「活力と魅力あるまち」について  <u>西東京市都市計画マスタープランでは、「みどり・水辺・景観のまちづくり方針」に、市内で最大規模の貴重な緑地空間として東大生態調和農学機構（以下機構と称す）のみどりの保全と活用のため、さまざまな施策を検討する。第2次総合計画では西東京市の魅力を活かした拠点づくりとして、機構等と連携したまちづくりの推進が挙げられており、機構を地域の重要な公共資源と位置づけているようです。</u>  <u>機構ではキャンパス整備がほぼ終了し、機構・市・市民の協働による南側キャンパスの活用提案を呼び掛けています。南側キャンパスでは基本目標②子ども・教育、③健康・福祉、④みどり・環境、⑤都市基盤・安全、⑥産業・学び・文化芸術に関連する施策が考えられます。特に教育委員会の協力による大学の圃場を活用した小中学生の「総合的な探究の時間」の場としての活用は、電線のない大空のもと大学関係者やボランティアなど多くの人と交流もあり、次代を担う子どもたちの育成に繋がる新しい取り組みとして有効ではないかと思えます。</u></p>	<p>第2次総合計画では、市内で最大規模の貴重な緑地空間として東大生態調和農学機構（以下機構と称す）を西東京市の魅力を活かした拠点づくりとして、機構等と連携したまちづくりの推進が挙げられており、機構を地域の重要な公共資源と位置づけているようです。  機構ではキャンパス整備がほぼ終了し、機構・市・市民の協働による南側キャンパスの活用提案を呼び掛けています。様々な分野に関連する施策が考えられますが、特に教育委員会の協力による大学の圃場を活用した小中学生の「総合的な探究の時間」の場としての活用は、電線のない大空のもと大学関係者やボランティアなど多くの人と交流もあり、次代を担う子どもたちの育成に繋がる新しい取り組みとして有効ではないかと思えます。</p>

No.	分類 (対象部分)		提出意見 (全文)	意見概要
26	基本計画 総論	6. 計画を推進するための考え 方エリア (圏域) における取組の推進 (学校を核とした まちづくり)	<p>少子高齢化等により将来様々な課題が想定され行政と地域社会の在り方が問われる中で、市民の価値観の多様化や経済格差、無関心層の増加等の状況下において計画を推進して行くには、いかに市民の関心と参加意識を向上させていくかが重要課題ではないかと思ひます。</p> <p>昨年8月開催の「まちづくりワークショップ」への参加、広報西東京5月特集号の閲覧、「ポスターセッション」に参加しましたが、中学校を拠点にしたまちづくりに大きな期待を寄せています。それは18の小学校では人が分散することから、9つの中学校を核とし学校を地域の教育・防災・文化・情報交流拠点として捉えることにより、行政の各部署を横断し地域の様々な人々との交流が始まり、各地域が抱える問題を行政と地域市民・団体・大学等がパートナーとして取り組むことによって計画の実現性が高まるのではないかとと思ひます。また、高校生には「総合的な探究の時間」のテーマとして、大学にはゼミのテーマとして取り組んでもらえれば相互にプラスになるとと思ひます。</p>	<p>少子高齢化等により将来様々な課題が想定され行政と地域社会の在り方が問われる中で、市民の価値観の多様化や経済格差、無関心層の増加等の状況下において計画を推進して行くには、いかに市民の関心と参加意識を向上させていくかが重要課題ではないかと思ひます。</p> <p>中学校を拠点にしたまちづくりに大きな期待を寄せています。9つの中学校を核とし学校を地域の教育・防災・文化・情報交流拠点として捉えることにより、行政の各部署を横断し地域の様々な人々との交流が始まり、各地域が抱える問題を行政と地域市民・団体・大学等がパートナーとして取り組むことによって計画の実現性が高まるのではないかとと思ひます。</p>
27	基本計画 総論	6. 計画を推進するための考え 方エリア (圏域) における取組の推進 (学校を核とした まちづくり)	<p>中学校を中心にしたコミュニティ作りの必要性が分からない。市民のつながりは、文化活動や学習活動など様々なネットワークで構成されており、中学校等の範囲では収まりきらない。また、公民館を学校に併設するかのような方針には反対する。公民館と学校は機能が異なる。利用者の幅も広がりもある中で、活動形態が異なる組織を合築させようとするのはお互いにデメリットしかない。誰も望んでいないのに、行政主導の行革?としたら、市民不在も甚だしい。庁舎統合の行革を棚上げして本末転倒である。</p>	<p>中学校を中心にしたコミュニティ作りの必要性が分からない。市民のつながりは、文化活動や学習活動など様々なネットワークで構成されており、中学校等の範囲では収まりきらない。また、公民館を学校に併設するかのような方針には反対する。公民館と学校は機能が異なる。利用者の幅も広がりもある中で、活動形態が異なる組織を合築させようとするのはお互いにデメリットしかない。</p>
28	基本計画 総論	6. 計画を推進するための考え 方エリア (圏域) における取組の推進 (学校を核とした まちづくり)	<p>7. エリアにおける取組の推進について 「学校には多世代の住民が集うきっかけがあります。」とあるが、今まで20年程住んでいる中で、一度も行く機会はない。学校は入りにくい。学校に関わる人しか入れない場所というイメージがある。図書館の方が日頃から様々な世代が入りし、行きやすいと思う。職員の対応や場の雰囲気も市役所や公民館などと比べてはるかにいい。ライフステージ、ライフスタイルがどんなときも変わらず行くことができた場所は図書館でした。</p>	<p>「学校には多世代の住民が集うきっかけがあります。」とあるが、今まで20年程住んでいる中で、一度も行く機会はない。学校は入りにくい。学校に関わる人しか入れない場所というイメージがある。図書館の方が日頃から様々な世代が入りし、行きやすいと思う。ライフステージ、ライフスタイルがどんなときも変わらず行くことができた場所は図書館でした。</p>
29	基本計画 各論	1-2 協働のまち づくりの推進	<p>東大生態調和農学機構との連携協定 全国大学附属農場協議会参加の大学農場 (54ヶ所) では、行政と連携協定を締結して地域課題の解決に連携して取り組んだり、児童生徒対象の「農業ふれあい教室」の開催など、さまざまな活動を行っている行政と大学があります。西東京市は武蔵野大学と協定をされていますが、機構とも連携協定を結ぶことで基本目標と基本施策がより促進されるのではないのでしょうか。</p>	<p>西東京市は武蔵野大学と協定をされていますが、東大生態調和農学機構とも連携協定を結ぶことで基本目標と基本施策がより促進されるのではないのでしょうか。</p>
30	基本計画 各論	5-2 幼児教育・保育の 充実 6-1 学校教育の充実	<p>1 基本目標についての意見 ・小中学校の老朽化に対し、改築・増築が必要と思ひます。 ①小学校の35人学級の決定をまず実施する。 ②特別支援教室の希望者が多く、十分な教育が行われていない。国・都に対し、早く十分な施設を作ってほしい。 ③放課後の子どもたちの学童保育が、現在、2倍の子どもの過密を早く是正してほしい。</p>	<p>小中学校の老朽化に対し、改築・増築が必要と思ひます。 ①小学校の35人学級の決定をまず実施する。 ②特別支援教室の希望者が多く、十分な教育が行われていないため、国・都に対し、早く十分な施設を作ってほしい。 ③学童保育における子どもの過密を早く是正してほしい。</p>

No.	分類 (対象部分)		提出意見 (全文)	意見概要
31	基本計画 各論	5-2 幼児教育・保育の 充実 6-1 学校教育の充実	<p>基本目標の2番目に「子どもが健やかに育つまち」が掲げられ、その基本施策の方向性にも納得できる部分も多いが、具体的な施策については曖昧さを感じざるを得ない。「子どもの育ちの支援」であれば、学童保育の待機者増への対応以外にも、<u>保育園の老朽化への対応、豊かな保育内容の確保のための市の加配による保育士確保などが当然必要になると思われる。また、学校教育についても、多様なニーズを持つ子どもが多く在籍する現状に対応した施策が早急に必要であり、少人数学級（小中学校すべての35人学級早期実現から30人学級へ市独自加配）や特別支援教室の充実</u>は避けて通れないと考える。</p> <p>今後の市財政や公的施設運営の継続の問題など検討の必要性は理解できるが、<u>少子化などを理由として学校施設を「活用する」などとしていくことは避けるべきである</u>。現状の学校の状況は、教室が余っていたり、教員の手が足りているようなものではなく、少人数化して指導したり、自由な空間で教育したくても、施設と人手が足りずに困難を極めている。本来は国や都の役割である部分も多いが、<u>市町村が「地元の子どもの未来」を切り開くために様々な加配や支援を行っている例も多い</u>。「子どもが健やかに育つまち」にふさわしい施策の実現を望む。</p>	<p>「子どもの育ちの支援」であれば、学童保育の待機者増への対応以外にも、保育園の老朽化への対応、豊かな保育内容の確保のための市の加配による保育士確保などが当然必要になると思われる。また、学校教育についても、多様なニーズを持つ子どもが多く在籍する現状に対応した施策が早急に必要であり、少人数学級（小中学校すべての35人学級早期実現から30人学級へ市独自加配）や特別支援教室の充実</p> <p>少子化などを理由として学校施設を「活用する」などとしていくことは避けるべきである。</p> <p>市町村が「地元の子どもの未来」を切り開くために様々な加配や支援を行っている例も多く、「子どもが健やかに育つまち」にふさわしい施策の実現を望む。</p>
32	基本計画 各論	6-1 学校教育の充実	<p>学校施設整備の検討について (こちらについても実施計画レベルの事案かもしれませんが) 現在ある市立の小中学校について、<u>統合も勘案しつつの建替えの検討を提案いたします。</u></p> <p>【補足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校によっては生徒数がさほど多いわけでもなく、一部のエリアにおいては人口当たりの学校数に余剰が生じている状況と認識しております。</li> <li>統合による学校数の減により、建替え工事費の節約や土地の有効活用(学校用地が減れば当然土地が余る)につながります。</li> </ul>	<p>現在ある市立の小中学校について、統合も勘案しつつ建替えの検討を提案します。</p>
33	基本計画 各論	6-1 学校教育の充実	<p>次に、具体的な問題です。「中間のまとめ」では中学校を中心にしたまちづくりの考え方が示されています。一方、国は「<u>学校施設の維持更新コストの最小化</u>」を求めています。国は、2014年から「<u>公共施設等総合管理計画</u>」を全自治体につくらせました。公共施設の総量(総延べ床面積)を削減する計画です。西東京市では、「<u>公共施設の総量抑制</u>」と表現しています。</p> <p>京都府福知山市では、2009年度から17小学校と1中学校を閉校する一方で、中学校の敷地内などに小学校3校を開校しました。27校あった小学校は現在、14校に半減しています。こうした統廃合のしわ寄せは子どもたちに向かっています。プールのなかった中学校に統合された小学校では、各学年が年4回、バスで市営プールに行かなければならなくなりました。音楽準備室のない中学校に統合された小学校では、楽器の置き場がなくなりました。少人数学級が子どもの学力だけでなく、子どもと教員が接する時間を多く確保できる。児童一人ひとりの状況を把握しやすい。教員の負担軽減にもつながっている。学校生活において落ち着いた生活を送れている。などの効果が報告されています。少人数学級は今後さらに進むでしょう。進めなければなりません。その際、教室が足りない、学校が足りないということが生じないように考えるべきです。</p> <p><u>子どもの権利条約と西東京市子ども条例の「子どもの最善の利益」が損なわれるようなことは絶対にしないで欲しいと思います。</u></p>	<p>「中間のまとめ」では中学校を中心にしたまちづくりの考え方が示されています。一方、国は「<u>学校施設の維持更新コストの最小化</u>」を求めています。国は、2014年から「<u>公共施設等総合管理計画</u>」を全自治体につくらせました。公共施設の総量(総延べ床面積)を削減する計画です。西東京市では、「<u>公共施設の総量抑制</u>」と表現しています。</p> <p>京都府福知山市では、小中学校の統廃合を行い、そのしわ寄せは子どもたちに向かっています。少人数学級は今後さらに進むでしょう。その際、教室が足りない、学校が足りないということが生じないように考えるべきです。</p> <p>子どもの権利条約と西東京市子ども条例の「子どもの最善の利益」が損なわれるようなことは絶対にしないで欲しいと思います。</p>

No.	分類 (対象部分)		提出意見 (全文)	意見概要
34	基本計画各論	9-1 みどりの 保全・活用	西東京市に住み始めて7年目ですが、農地が次々に宅地に転用されているのを目にしました。 一方、第3次基本計画案では、人口は2027年までほぼ横ばいの状態が続いた後、緩やかに減少に転じると予測されています。 後世に渡ってみどり豊かな環境を残していくことは、武蔵野台地の面影を残す西東京市にとって、将来の魅力を維持・向上させることに繋がります。農地の闇雲な宅地開発により、凡調な市街地になるのではなく、人口減少することを前提に、農地や緑地の維持に力を入れるべきです。	農地が次々に宅地に転用されています。一方、市の人口は2027年までほぼ横ばいの状態が続いた後、緩やかに減少に転じると予測されています。 後世に渡ってみどり豊かな環境を残していくことは、武蔵野台地の面影を残す西東京市にとって、将来の魅力を維持・向上させることに繋がります。人口減少することを前提に、農地や緑地の維持に力を入れるべきです。
35	基本計画各論	9-1 みどりの 保全・活用	私は犬を飼っていますが、西東京市にドッグランがなくとても困っています。近隣では、小金井市の小金井公園や調布市の神代植物公園に行くしかなく、西東京市内にないのはとても残念です。 西東京市の犬の登録頭数7,354 (令和2年度) ■公営ドッグランのある近隣自治体 (令和2年度の登録頭数) 練馬区 (25,092) 中野区 (9,184) 調布市 (8,293) ★西東京市 (7,354) ←ドッグランがない 立川市 (7,254) 武蔵野市 (4,970) 多摩市 (5,836) 小金井市 (4,465) ぜひ西東京市に公営ドッグランをお願いいたします！ 候補地としては、管理人も常駐しており、スペース的にも大きな「西東京いこいの森公園」が良いと思います。 どうぞ、よろしくをお願いいたします。	西東京市にドッグランがなくとても困っています。近隣では、小金井市の小金井公園や調布市の神代植物公園に行くしかありません。 ぜひ西東京市に公営ドッグランをお願いいたします。 候補地としては、管理人も常駐しており、スペース的にも大きな「西東京いこいの森公園」が良いと思います。
36	基本計画各論	9-1 みどりの 保全・活用	基本目標6 活力と魅力あるまち (産業・学び・文化芸術) 及び基本施策14においても屋敷林が地域資源として示されており、その活用が謳われておりますが、そのためにまずは地域資源となる屋敷林がどのくらい減少しているかの現状を把握し、適切に保全することを前提にした書き方にすべきです。生産緑地で東京都や西東京市の施策が国や社会を動かしてきたように、次は屋敷林の保全について、既存制度の枠にとらわれず、保全し活用したまちづくりを真剣に考えるべき時代に来ていると思います。	基本目標6 活力と魅力あるまち (産業・学び・文化芸術) 及び基本施策14においても屋敷林が地域資源として示されており、その活用が謳われておりますが、まずは地域資源となる屋敷林がどのくらい減少しているかの現状を把握し、適切に保全することを前提にした書き方にすべきです。
37	基本計画各論	9-1 みどりの 保全・活用	公園管理の市民ボランティアとの協働で、活動する場所や時間が各自自由で、グループだけではなく、個人でもできることはとてもいいと思う。限られた時間の中で各自やりやすいときに柔軟にできるためとてもいいです。このまま変えずに続けてほしい。みどりの中で活動することはストレス軽減になり、草取りは全身運動なので、健康づくりにも最適です。これを活かさないのはもったいないと思う。	公園管理の市民ボランティアとの協働で、活動する場所や時間が各自自由で、グループだけではなく、個人でもできることはとてもいいと思う。このまま変えずに続けてほしい。みどりの中で活動することはストレス軽減になり、健康づくりにも最適です。

No.	分類 (対象部分)		提出意見 (全文)	意見概要
38	基本計画各論	9-1 みどりの 保全・活用	<p>目標はいいのですが、きれいな言葉で裏付けがありません。どうするのか具体的な方策が無ければ画餅になりかねません。</p> <p><u>いちばん大事なのは、みどりに満ちた 美しいまち</u></p> <p>ここ数年、生産緑地・屋敷林・戸建の建て替えて2戸に分割されたり、東大農場も道路で分断され、農協、6階建てマンション2棟の建設が進み、今大型機械の騒音被害でも大変です。</p> <p><u>東大農場・演習林の言葉だけ入っていますが、東大農場売却予定地A地区は、田無駅から見える所にあります。田無駅前近くには、公園もなく、市民の憩いの場、避難場所としても大事です。緑基金拡充で、まず東大農場A地区(売却予定地1. 3ha)だけでも借り上げる等して、子どもたちに「はらっぱ」を残して下さい。又ここは広域避難場所に指定しており、井戸・トイレ・防災倉庫・救護所をかねて集會室を設けておけば、普段土・日でも親子が散歩・音楽会や色々な催しも出来るでしょう。</u></p> <p>今まで何度も「みどり基金拡充制度」の創設で、遺言遺贈等でお金をつくることを提案してきました。今の若い人は、正規の仕事もなくお金もありません。戦後の高度成長時代もすごし、多少余裕のある高齢者に、次世代のために理解を求めることが必要かと思えます。しかし、不安定・物価高・医療にもお金のかかる世代すぐ寄付は出来ません。</p> <p>信金と共に、市のみどりの基金口座の番号をとって貰い遺言遺贈の仕組みをつくり、ピンピンコロリ使わずに済めば、子供たちに東大農場A地区や、生産緑地・屋敷林を買取・借地し、市民がみんなで耕せるようにすることが必要です。特に戦争・温暖化・異常気象・地震等の災害ですぐ困るのは、生鮮食料品です。食の安全保障が一番で、都市も市民がみんなで普段から耕せる場所の確保が一番かと思えます。</p> <p>特に開発時、小規模では3%緑地を残させたのに、現金でもよいとしたので、一水の余裕もなくビッチリ開発されています。市は、小さな公園の管理が大変と考えたのでしょうか、ここは、住民に責任者を決めて任せ、お花でもカボチャやトウモロコシでも枝豆でも作って貰い、子供達含めみんな家族で土に親しむ機会を提供すれば、コミュテイの構築・再生にもなります。まず土に親しむことから始めて下さい。</p> <p>他の自治体でも、緑を確保するための色々な方策で資金集めをしています。</p>	<p>いちばん大事なのは、みどりに満ちた 美しいまち。</p> <p>東大農場・演習林の言葉だけ入っていますが、東大農場売却予定地A地区は、田無駅から見える所にあります。田無駅前近くには、公園もなく、市民の憩いの場、避難場所としても大事です。緑基金拡充で、まず東大農場A地区(売却予定地1. 3ha)だけでも借り上げる等して、子どもたちに「はらっぱ」を残して下さい。今の若い人は、正規の仕事もなくお金もありません。戦後の高度成長時代もすごし、多少余裕のある高齢者に、次世代のために理解を求めることが必要かと思えます。</p> <p>遺言遺贈の仕組みをつくり、東大農場A地区や、生産緑地・屋敷林を買取・借地し、市民がみんなで耕せるようにすることが必要です。特に戦争・温暖化・異常気象・地震等の災害ですぐ困るのは、生鮮食料品です。食の安全保障が一番で、市民がみんなで普段から耕せる場所の確保が一番かと思えます。</p> <p>子供達含めみんな家族で土に親しむ機会を提供すれば、コミュテイの構築・再生にもなります。</p> <p>他の自治体でも、緑を確保するための色々な方策で資金集めをしています。</p>
39	基本計画各論	9-1 みどりの 保全・活用	<p>土や畑やきれいに管理された造園の木々などがどんどん宅地化されて、みどりが減っていることも課題である。適切な施策により守り、生かしていけるように効果的な具体策を実行して欲しい。</p> <p>114ページの現状と課題のところ、<u>「身近な農地を保全・活用する取組を進めることにより、貴重なみどりの空間を確保することも必要です。」</u>とあるが、<u>きれいに管理された造園の木々が広がるどころや広い敷地に木々の広がる市民の宅地もまちのみどりの空間確保に大きく貢献していることから保全することの一つに加えてほしい。</u>田無駅南口側にはきれいに管理された造園の場所が点在している。季節を感じられ、心地よく、小鳥のさえずりがきこえる。うぐいすの鳴き声がきこえることは毎年の楽しみである。この場所は西東京市のたからのひとつだと思う。</p>	<p>土や畑やきれいに管理された造園の木々などがどんどん宅地化されて、みどりが減っていることも課題である。</p> <p>「施策9-1 みどりの保全・活用」の現状と課題のところ、「身近な農地を保全・活用する取組を進めることにより、貴重なみどりの空間を確保することも必要です。」とあるが、きれいに管理された造園の木々が広がるどころや広い敷地に木々の広がる市民の宅地もまちのみどりの空間確保に大きく貢献していることから保全することの一つに加えてほしい。</p>
40	基本計画各論	9-1 みどりの 保全・活用	<p>④ 環境に優しい持続可能なまち</p> <p>みどりの保全と脱炭素社会 みどりの効用と保全は、その通りですが、先にも述べましたが、<u>具体的に公共用地として市民が耕せないと残せません。そのためのお金づくりを具体的に議論してください。</u></p>	<p>みどりは、具体的に公共用地として市民が耕せないと残せません。そのためのお金づくりを具体的に議論してください。</p>

No.	分類 (対象部分)		提出意見 (全文)	意見概要
41	基本計画各論	10-2 循環型社会の構築	122ページに「製品プラスチックの資源化に向けた取組の検討が必要です。」とあるが、ぜひ進めてほしい。プラスチック製品についてはとても気になっており、プラスチック製品をなるべく買わないようにしているが、買うこともあり心苦しかった。このような取組はとて素晴らしいです。西東京市は早くからごみの分別やごみ袋の有料化を始め、ごみの問題に様々に取り組んでいてとてもいいなと思っている。	「施策10-2 循環型社会の構築」に「製品プラスチックの資源化に向けた取組の検討が必要です。」とあるが、ぜひ進めてほしい。
42	基本計画各論	10-3 生活環境の維持	PFAS (有機フッ素化合物) による地下水の汚染、水道水の汚染、血液の汚染が心配です。これに関して、在日米軍司令部は、6月16日の報道発表で、在日米海軍・海兵隊基地や米空軍三沢基地では旧式泡消火剤の廃棄とPFOS等を含まない新式泡消火剤への交換が完了したこと、全ての米軍基地で、2024年10月1日付で、旧式・新式泡消火剤の使用を禁止し「非フッ素」泡消火剤に切り替えるとしています。ただ、横田基地と嘉手納基地で使用されている旧式泡消火剤の廃棄・交換の具体的な時期は示していません。市民の命と健康を守るために、この基本構想・基本計画の中で、PFAS (有機フッ素化合物) による汚染対策をどう位置づけるのか、市民の命と健康を守る立場で明確に示すべきだと思います。	PFAS (有機フッ素化合物) による地下水の汚染、水道水の汚染、血液の汚染が心配です。市民の命と健康を守るために、この基本構想・基本計画の中で、PFAS (有機フッ素化合物) による汚染対策をどう位置づけるのか、市民の命と健康を守る立場で明確に示すべきだと思います。
43	基本計画各論	10-3 生活環境の維持	124ページの公害のところPFASを入れるべきである。また、健康被害も報告されている。公衆衛生分野は行政が担う重要な役割のひとつのはずだ。市民の健康を守っていくために取組み、具体的な取組内容を加えることを求める。	「施策10-3 生活環境の維持」の公害のところPFASを入れるべきである。市民の健康を守っていくために取組み、具体的な取組内容を加えることを求める。
44	基本計画各論	11-1 住みやすい住環境の整備	○都市基盤・安全 町内で多くの空き家が見受けられますが、防犯も含め空き家対策を積極的に進めてほしいです。	町内で多くの空き家が見受けられますが、防犯も含め空き家対策を積極的に進めてほしいです。
45	基本計画各論	11-1 住みやすい住環境の整備	「容積率・建蔽率についての見直し」を提案します。 (本件については、基本計画というよりも実施計画レベルの事案なのかもしれませんが) 第3次基本構想・基本計画案 中間とりまとめによると、西東京市は将来的に緩やかな人口減少に転じるとのこと。これに対する打ち手として有効と考えます。 【補足】 ・市内各所で、建蔽率/容積率が40%/80%のエリアが散見されます。当該エリアについて、建蔽率および容積率の上昇をご検討いただきたいです。建蔽率・容積率により、必要な土地面積が変わってきますが、これらの率が低いことにより広い土地(それに伴う土地購入費)が必要となり、新築で移り住む上での西東京市という選択肢に影響を与えると考えます。また、既に市内の戸建てに在住している中には、増築を望んだとしてもこれらにより増築面積(部屋の増加)を望まず、家族計画に影響する要因となっている可能性も大いにあります。 ・地価は上昇しており、市内への移住者の戸建てについてはハードルが高くなってきております。一方で、テレワークの普及もあり、都心マンションを選択していた層が、郊外(23区外)の戸建ても考えるようになってきております。この状況を勘案し、早期に手を打つべき状況と認識しております。 ・本提案については、防災面・インフラ整備の課題がクリアできていれば問題ないことと考えます。また、特段の予算の必要がなく、財政面での課題もないと考えます。 ・緑の保全(農地の保全や公園整備)と人口減への対策を両立させるうえでも、限られた土地を有効に活用するうえで、上記はまずやるべき一手と考えます。	西東京市は将来的に緩やかな人口減少に転じるため、「容積率・建蔽率についての見直し」を提案します。



No.	分類 (対象部分)		提出意見 (全文)	意見概要
50	基本計画各論	11-2 体系的な道路ネットワークの整備	⑤ 安全で安心して快適に暮らせるまち 文言は良いですが、みどりが感じられるだけでは、みどりは残りません。 安全安心も具体的に、歩道の拡幅等安心して歩けるように、今まで未整備の道路は凍結中止する。西東京333道路は、拡幅はダメと元末木市長が、言い凍結されていた道路が、整備されるやに聞きましたが、よい環境を壊されるので反対です。 ★ 新たな道路は要りません。今施工中、計画中の都市計画道路も見直し、緑地帯として残せば、防災にも健康にも最適です。	安全安心も具体的に、歩道の拡幅等安心して歩けるように、今まで未整備の道路は凍結中止する。西東京都市計画道路3・3・3号線は、よい環境を壊されるので反対です。 新たな道路は要りません。今施工中、計画中の都市計画道路も見直し、緑地帯として残せば、防災にも健康にも最適です。
51	基本計画各論	11-2 体系的な道路ネットワークの整備	西東京市に住んで20年過ぎましたが、道路が全く改善されていません。狭い、細い、歩道が無い等、他の市に比べて最悪です。特に南部は坂が多く危険性が有ります。都市計画道路の早急な整備をお願いします。	西東京市の道路は、狭い、細い、歩道が無い等、他の市に比べて最悪です。特に南部は坂が多く危険性があります。都市計画道路の早急な整備をお願いします。
52	基本計画各論	11-2 体系的な道路ネットワークの整備	西武池袋線、西武新宿線の踏切は鉄道と道路の立体交差によって実現できます。これも基本構想・基本計画の中でどう位置づけるのか示すべきだと思います。	西武池袋線、西武新宿線の踏切は鉄道と道路の立体交差によって実現できます。これも基本構想・基本計画の中でどう位置づけるのか示すべきだと思います。
53	基本計画各論	11-2 体系的な道路ネットワークの整備	○都市基盤・安全 道路建設はこの計画に関係するのかわかりませんが、道路が狭く、その上歩道も狭く自転車通行が危険を感じます。歩道と車道では段差があるだけでなく歩道での人の交差の危険があり、「安心なまち」の課題としてお願いします。	道路が狭く、その上歩道も狭く自転車通行が危険を感じます。歩道と車道では段差があるだけでなく歩道での人の交差の危険があり、「安心なまち」の課題としてお願いします。
54	基本計画各論	11-2 体系的な道路ネットワークの整備	全市に言えるのだと思いますが、生活道路のデコボコは歩行者には危ないです。補装しても耐用年数は約7年とのことです。私道を早く市道に。そしてこの補装の仕方はなんとか良い方法はないのでしょうか？ 車椅子に乗っている人はデコボコがなお身体にひびきます。	生活道路のデコボコは歩行者には危ないです。補装しても耐用年数は約7年とのことです。私道を早く市道に。そしてこの補装の仕方はなんとか良い方法はないのでしょうか？ 車椅子に乗っている人はデコボコがなお身体にひびきます。
55	基本計画各論	11-2 体系的な道路ネットワークの整備	田無駅の踏切は危ないと皆思っているのではないのでしょうか。時間によっては開かずの踏切になります。立体交差を。	田無駅の踏切は危ないと皆思っているのではないのでしょうか。時間によっては開かずの踏切になります。立体交差を。
56	基本計画各論	11-2 体系的な道路ネットワークの整備	2) 西武新宿線田無駅～花小金井駅付近の鉄道立体化について、市民アンケートを実施すべきである。 同区間は東京都の「踏切対策基本方針」において鉄道立体化計画のひとつに選定されており、「連続立体交差事業」へのステップアップが展望される。同計画に対して小平市では市民アンケートを実施して結果を公開しているが、西東京市でも早急に実施すべきである。その際、高架化だけを前提とせず、必ず地下化も選択肢に入れるべきである。というのも、地下工事技術の進展で工費の低下が進み、地上部の用地買収費用も格段に少ないことから、必ずしも地下化の工事費が高いわけではないからである。景観は革命的に素晴らしく、線路跡地利用の都市計画の自由度も格段に大きくなる。しかも地元市の負担率も高架化が13.5%に対して、地下化は交渉によって決定され、調布市では7%の負担で済んでいるとのことである。街づくりへの市民参加の一歩として、市民アンケートを至急実施してほしい。	西武新宿線田無駅～花小金井駅付近の鉄道立体化について、市民アンケートを実施すべきである。 同区間は東京都の「踏切対策基本方針」において鉄道立体化計画のひとつに選定されており、「連続立体交差事業」へのステップアップが展望される。同計画に対して小平市では市民アンケートを実施して結果を公開しているが、西東京市でも早急に実施すべきである。その際、高架化だけを前提とせず、必ず地下化も選択肢に入れるべきである。街づくりへの市民参加の一歩として、市民アンケートを至急実施してほしい。
57	基本計画各論	13-1 産業の振興	⑥ 活力と魅力あるまち 「農のプラットフォーム」づくりは始動しているのでしょうか？ 市の仕事は、殆ど事業者に委託します。地産地消で、地元の事業者へ先ず委託すべきです。 市の職員も出来るだけ、市内在住者にすることにより、わがまちの仕事と思うのではないですか？災害等の時も一番に駆けつけて貰えます。	「農のプラットフォーム」づくりは始動しているのでしょうか？ 地産地消で、地元の事業者へ先ず委託すべきです。

No.	分類 (対象部分)		提出意見 (全文)	意見概要
58	基本計画 各論	15-1 生涯学習環境と主体的な学びの機会の充実	計画の中で、「一人ひとりがいいきと輝くまちを実現するために」「多様性を認め合う社会を構築するために」「持続発展する自治体であるために」の言葉は、とても心に響き、こんなまちができればいいだろうと思います。 このことを実現するためには、元気な市民を育てる場の確保が必須です。市民がつながれる場所、学習できる場所、地域課題を解決するための活動ができる場所、それは、公民館、図書館ではないかと私は思います。特に公民館は社会教育の場と位置づけられ、ただの貸館ではありません。市内6館の公民館はそれぞれの館で地域に根差した活動をしており、公民館活動から生まれた市民のグループは数多く、公民館で学び活動する市民が多いということは、まちが元気になるということで、それは、行政にとっては手助けが多いということだと私は考えています。 第3次基本構想・基本計画を生かすためには、今後、公民館を今まで以上に地域の拠点として捉え、市民にとってより身近な場所になるように、行政側としての施策を望みます。近年、近隣自治体にみられるような、利用の有料化や、公民館から生涯学習センターやコミュニティセンターなどへの移行は、決して自治体にとっても有効なこととは思えません。目先の経済性だけを考えるのではなく、将来を見越しての施策を望みます。	基本目標1に描かれたまちを実現するためには、元気な市民を育てる場の確保が必須です。市民がつながれる場所、学習できる場所、地域課題を解決するための活動ができる場所、それは、公民館、図書館ではないかと思えます。市内6館の公民館はそれぞれの館で地域に根差した活動をしており、公民館活動から生まれた市民のグループは数多く、公民館で学び活動する市民が多いということは、行政にとっては手助けが多いということだと考えています。 今後は、公民館を今まで以上に地域の拠点として捉え、市民にとってより身近な場所になるように、行政側としての施策を望みます。近年、近隣自治体にみられるような、利用の有料化や、公民館から生涯学習センターやコミュニティセンターなどへの移行は、決して自治体にとっても有効なこととは思えません。目先の経済性だけを考えるのではなく、将来を見越しての施策を望みます。
59	基本計画 各論	15-1 生涯学習環境と主体的な学びの機会の充実	○「学校を核としたまちづくり」 最初は学校が老朽化して建替えになった場合に、複合施設の方性を説明で聞きました。しかし、市議会で議員がこの第3次基本構想・基本計画案に関して質問されて、公共施設再編計画に再編モデル案として「学校を核としたまちづくり」の中に図書館、公民館も組み入れた交流施設の複合化の案が出ているということを知りました。あのパネルには示されていませんでした。学校を含めての市民の交流施設と言っても、現在ある市民会館、市民集会施設を多目的施設と考えることと、公民館も1つの交流施設に含めることは反対です。公民館は単なる集会施設ではありません。社会教育施設として市民の学習の場として保障されるべきです。現に公民館の市民向けの企画事業と市民の団体やサークルが独自に企画した学習会、講演会を申請して公民館事業として取り上げてもらう事業や市民とのつながりを対象とする活動が盛んで公民館の市民の活動の場が活発です。市民が自治能力を培う場として保障されてきた施設です。単なる集会施設、交流施設と混同させないでください。市民交流施設は別途市民が体操教室、サークル活動、多様な目的としての使用できる施設として考えて頂きたいと考えます。	市議会で議員が質問されて、「学校を核としたまちづくり」の中に図書館、公民館も組み入れた交流施設の複合化の案が出ているということを知りました。 現在ある市民会館、市民集会施設を多目的施設と考えることと、公民館も1つの交流施設に含めることは反対です。公民館は単なる集会施設ではありません。社会教育施設として市民の学習の場として保障されるべきです。市民が自治能力を培う場として保障されてきた施設です。単なる集会施設、交流施設と混同させないでください。
60	基本計画 各論	15-1 生涯学習環境と主体的な学びの機会の充実	基本目標3 笑顔で自分らしく暮らせるまち(健康・福祉)で大切なことは、市民が自主的に学んだり、活動したりできる体制を整えることです。 そのためには、集会施設をお金の心配なく自由に市民が使えるように、無料を堅持することが必要です。 学校施設と公民館との複合化が取りざたされていますが、目的が違うものを一緒にしても、有効に使えるとは限りません。複合化ではなく、学校は学校として子どもたちの豊かな成長のために整備する。公民館は、市民の学びの拠点として、公民館独自に整備をすることが必要です。経費削減のために、複合化を検討することなどあってはならないと思います。	「基本目標3 笑顔で自分らしく暮らせるまち(健康・福祉)」で大切なことは、市民が自主的に学んだり、活動したりできる体制を整えることです。 そのためには、集会施設をお金の心配なく自由に市民が使えるように、無料を堅持することが必要です。 学校施設と公民館との複合化が取りざたされていますが、目的が違うものを一緒にしても、有効に使えるとは限りません。複合化ではなく、学校は学校として子どもたちの豊かな成長のために整備する。公民館は、市民の学びの拠点として、公民館独自に整備をすることが必要です。経費削減のために、複合化を検討することなどあってはならないと思います。
61	その他		学校給食費無償化が市議会で可決されたのですから、ぜひ予算化をお願いします。	学校給食費無償化が市議会で可決されたのですから、ぜひ予算化をお願いします。

No.	分類 (対象部分)		提出意見 (全文)	意見概要
62	その他		<p>憲法第92条は「地方公共団体の組織及び運営に関する事項は、地方自治の本旨に基づいて、法律でこれを定める」と地方自治の基本原則を定めています。そして「地方自治の本旨」とは住民自治と団体自治からなります。「住民自治」とは、住民の意思に基づいて地方政治が行われること、住民が主人公であるということです。「団体自治」とは、国から独立して、その地方の実情に沿って地方の政治が行われることです。</p> <p>私は、基本構想・基本計画の策定は、国から押し付けられたものと思っています。国による団体自治への侵害の疑いのあるものです。その上、<u>2011年の地方自治法の改正により、策定が義務でなくなっています。なぜ、策定し続けるのか疑問です。</u>また、<u>市長選挙や市議会議員選挙で、基本的には4年ごとに市長や議員が変わる可能性があるのですから、前の市長や議員が後の市長や議員を、10年間の基本構想・基本計画で縛ることになれば、なんのために選挙をするのか意味をなさなくなります。</u>住民自治の侵害の疑いが浮上します。</p> <p><u>そういうものを策定するための人的資源、物的資源（お金）の使用は無駄ではないでしょうか。一体、いくらかかっているのでしょうか。効率的な行財政運営ということを行うのであれば、ここにはメスを入れるべきです。</u></p>	<p>基本構想・基本計画の策定は、国から押し付けられたものと思います。2011年の地方自治法の改正により、策定が義務でなくなっており、なぜ、策定し続けるのか疑問です。</p> <p>また、市長選挙や市議会議員選挙で、基本的には4年ごとに市長や議員が変わる可能性があるのですから、前の市長や議員が後の市長や議員を、10年間の基本構想・基本計画で縛ることになれば、なんのために選挙をするのか意味をなさなくなります。</p> <p>そういうものを策定するための人的資源、物的資源（お金）の使用は無駄ではないでしょうか。効率的な行財政運営ということを行うのであれば、ここにはメスを入れるべきです。</p>
63	その他		<p>財政計画の明示がない計画は、絵にかいた餅である。令和5年度の予算概要を見ると、貯金である基金残高が約124億4千万円、借金である起債残高が461億4千万円となっている。身の丈にあった計画・予算を策定していなかったと推測される。各年度の財政計画を示した上で、改めてパブリックコメントを行うべきである。</p>	<p>財政計画の明示がない計画は、絵にかいた餅である。各年度の財政計画を示した上で、改めてパブリックコメントを行うべきである。</p>
64	その他		<p>成果指標や主要事務事業が全て「調整中」となっている。これらを全て示した上で、改めてパブリックコメントを行うべきである。</p>	<p>成果指標や主要事務事業が全て「調整中」となっている。これらを全て示した上で、改めてパブリックコメントを行うべきである。</p>
65	その他		<p>今回の「第3次基本構想・基本計画案 中間まとめ」の説明会はパネル展示で、パネルを見て読み取り質問に行政側が答えるという形式で後で参加された方達を集めて、質問を兼ねた話し合いを行いました。少なくとも行政側が中間まとめとしてのポイントなりの説明が欲しかったです。パネルで基本目標、理念などを示されていましたが具体的な案は示されていませんでしたので、意見を出しにくいと感じました。また今回のこの説明会の市報特集号での説明会に気付かない市民も多くありました。基本構想策定に向けて、市民意識調査、シンポジウム、ワークショップなどで作り上げたと言っていますが、どれだけの声を吸い上げられたのでしょうか疑問です。</p>	<p>今回の説明会はパネル展示でしたが、少なくとも行政側が中間まとめとしてのポイントなりの説明が欲しかったです。パネルで基本目標、理念などを示されていましたが具体的な案は示されていませんでしたので、意見を出しにくいと感じました。また市報特集号に気付かない市民も多くありました。基本構想策定に向けて、市民意識調査、シンポジウム、ワークショップなどで作り上げたと言っていますが、どれだけの声を吸い上げられたのでしょうか疑問です。</p>
66	その他		<p>財政見通しのグラフ データ欄 調整中の欄、空欄が多数 殆どでした。一番見て知りたい重要と思うところが空欄というのはどういうふうにか考えたらいいか、期待 信頼しようと思う気持ちが諦め変わってきます。それが記載されていないと考える意見も深まらないのではないのでしょうか。中間報告なりにもっと充実した誠意、やる気を感じるものであってほしいです。道路なども含め自然と生活と教育などをどう調和させるのが良いのか、目先の事だけでなく考えていってほしいです。これからの若い人たち、市民みんなのためにも分かりやすく親切な誠意ある情報公開をお願いしたいです。</p>	<p>財政見通しのグラフやデータ欄について、調整中や空欄が殆どでした。一番見て知りたい重要と思うところが空欄というのはどういうふうにか考えたらいいか、期待 信頼しようと思う気持ちが諦め変わってきます。それが記載されていないと考える意見も深まらないのではないのでしょうか。道路なども含め、自然と生活と教育などをどう調和させるのが良いのか、目先の事だけでなく考えていってほしいです。これからの若い人たち、市民みんなのためにも分かりやすく親切な誠意ある情報公開をお願いしたいです。</p>

No.	分類 (対象部分)	提出意見 (全文)	意見概要
67	その他	<p>1. パブリックコメント募集について            今回は西東京市第3次基本構想・基本計画案中間のまとめについてのパブリックコメントの募集であるが、中間だからかデータや成果指標、主要事務事業などが調整中となっている。その部分の案と今回のパブリックコメントをふまえた全ての案ができて、もう一度パブリックコメントの募集が行われるという認識でよいか。            今回の段階では詳しいことが決まっておらず、具体的にどうしようとしているのかわからない。全ての案が決まってから、もう一度パブリックコメントを募集することを求める。</p>	<p>パブリックコメント募集について、今回は中間だからかデータや成果指標、主要事務事業などが調整中となっている。その部分の案と今回のパブリックコメントをふまえた全ての案ができて、もう一度パブリックコメントの募集が行われるという認識でよいか。            全ての案が決まってから、もう一度パブリックコメントを募集することを求める。</p>
68	その他	<p>★ 市民2名 若者2名審議会委員に入っているとの事、また、それぞれワークショップ等なされたそうで評価出来ます。なお、各企業、団体の意見、アンケートなど行ったようですが、例えば、アンケートに答えて下さった方は、関心があるわけですから、日程を何日か設定しておいて参加出来る人を募り、市民と行政 或は、議員、専門家を含めて話し合いの場を開催するとよいのではないのでしょうか。アンケートに答えるだけでは、問題点の理解が足りないと言った方もいると思います。話し合うことによって、理解が深まります。中間パブコメを踏まえてぜひ意見を聞く場を設けて下さい。            今後は、只一過性ではなく、審議会委員の報酬をなくし、例えば100人規模で、分野別部会を開き当事者の意見を幅広く纏め、市民が多く参加し行政とともに学ぶことで今後にまちづくりに生きてくると思います。審議会条例の見直しを求めます。</p>	<p>審議会委員として、市民2名 若者2名審議会委員に入っているとの事、また、それぞれワークショップ等なされたそうで評価出来ます。なお、各企業、団体の意見、アンケートなど行ったようですが、アンケートに答えて下さった方は関心があるわけですから、中間パブコメを踏まえてぜひ意見を聞く場を設けて下さい。            今後は、審議会委員の報酬をなくし、例えば100人規模で、分野別部会を開き当事者の意見を幅広く纏め、市民が多く参加し行政とともに学ぶことで今後にまちづくりに生きてくると思います。審議会条例の見直しを求めます。</p>
69	その他	<p>一通り読みましたが、大部分が抽象的で読み取れません。具体的な事が出てこないと言えませんが、次回は具体的をお願いします。            国は14年から公共施設等総合管理計画を全自治体に作らせたそうですが、公共施設の総量(総延べ床面積)を削減する計画です。学校を統合すれば校舎建設費の1/2を、危険校舎の建て替えでは国が1/3負担という事です。国の方針だからとか費用をもらえるからという事で物事を決めないでほしいと思います。使うのは市民ですから、そういう事に惑わされないで市民の利益になるように考えてほしいです。            公共施設の配置は、小さくても良いから、あちこちに分散してある事が、子どもにも老人にも良いです。どこかに集中して大きな物を！は、経済的には良いかもしれませんが、市民にとっては利用しやすく元気の出る場所にはなりません。            新町は集会所が1ヶ所なくなり、図書館もなくなり、福祉会館は地域社会利用がこの4月から始まりましたが、とても制約が多く使い勝手が悪いです。柳沢公民館のような施設を今後の10年の計画に入れていただくよう切に願います。</p>	<p>国は2014年から公共施設等総合管理計画を全自治体に作らせたそうですが、公共施設の総量(総延べ床面積)を削減する計画です。国の方針だからとか費用をもらえるからという事で物事を決めないでほしいと思います。使うのは市民ですから、そういう事に惑わされないで市民の利益になるように考えてほしいです。            公共施設の配置は、小さくても良いから、あちこちに分散してある事が、子どもにも老人にも良いです。どこかに集中した大きな施設は、経済的には良いかもしれませんが、市民にとっては利用しやすく元気の出る場所にはなりません。            柳沢公民館のような施設を今後の10年の計画に入れていただくよう切に願います。</p>
70	その他	<p>○健康・福祉            高齢者施設と児童センターを隣り合わせにして交流できる場も含められる施設を考えて欲しいです。</p>	<p>高齢者施設と児童センターを隣り合わせにして交流できる場も含められる施設を考えて欲しいです。</p>
71	その他	<p>西東京市には、都市へのアクセス・緑の多さ・スーパーなどの利便性、治安の良さ等々、様々な可能性・魅力があると考え、数年前に移り住んで参りました。地に足のついた市政の推進を期待しております。</p>	<p>西東京市には、都市へのアクセス・緑の多さ・スーパーなどの利便性、治安の良さ等々、様々な可能性・魅力があると考え、数年前に移り住んで参りました。地に足のついた市政の推進を期待しております。</p>

No.	分類 (対象部分)	提出意見 (全文)	意見概要
72	その他	<p>また、地方自治法 第1条の2 第1項は、「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図る」と定めています。中間のまとめの中で言われている「自助、共助、公助」という言葉があります。これも国から押し付けられているものですが、国や地方自治体は「公助」だけやるべきです。「自助、共助」は自分たちでやるし、やっています。主権者である市民に押し付けしないで貰いたいと思います。なぜ「自助、共助、公助」と言うかということ、本来なら国や自治体が行うべき仕事を、放棄して、市民にやらせたいからです。そのために国は、地方自治体に行財政改革大綱の策定を押し付け、「行政サービスの削減」と「市民負担増」を要求してきました。市は、これをはね返して「住民の福祉の増進」をこそ推進するべきです。</p>	<p>「自助、共助、公助」も国から押し付けられているものですが、国や地方自治体は「公助」だけやるべきです。「自助、共助」は自分たちでやるし、やっています。主権者である市民に押し付けしないで貰いたいと思います。なぜ「自助、共助、公助」と言うかということ、本来なら国や自治体が行うべき仕事を、放棄して、市民にやらせたいからです。そのために国は、地方自治体に行財政改革大綱の策定を押し付け、「行政サービスの削減」と「市民負担増」を要求してきました。市は、これをはね返して「住民の福祉の増進」をこそ推進するべきです。</p>
73	その他	<p>該当ページ 32ページ  <u>全ての施策で市民満足度は50%以下となっている。満足度が向上しているといたる所に記載があるが、1%でも向上すればいいと考えているのか。目標値を設定すべきではないか。最低でも50%を上回らないと市民の評価を得たとは言えないのではないか。評価・認識が甘すぎる。</u></p>	<p>全ての施策で市民満足度は50%以下となっている。満足度が向上しているといたる所に記載があるが、最低でも50%を上回らないと市民の評価を得たとは言えないのではないか。評価・認識が甘すぎる。</p>
74	その他	<p>令和5年(2023)5月26日号の「広報・西東京」で、標記の「特集」を拝読致しました。  <u>多くの点に気配りがなされており、大変立派な「案」だと思いますが、ただ一点、非常に残念なことは、「西東京市市民憲章に関する記載が全く無い」ことです。御承知かと思いますが、「西東京市市民憲章」は、来年の1月に「制定20周年」を迎えます。しかも、「本文・第一条」に「優しいまち」を掲げている市区町村の憲章は、他に殆ど例がありません。</u>  <b>【西東京市市民憲章】</b>(平成16年(2004)1月21日告示)      二十一世紀のはじめ、西東京市は、田無市と保谷市の合併によって誕生しました。わたくしたちのまち西東京市は、縄文時代の営みの跡や武蔵野の面影を残し、江戸時代から青梅街道の宿場町として栄えた歴史のあるまちです。わたくしたちは、先人から受け継いだ貴重な遺産や自然の恵みに感謝し、市民ひとりひとりがいきいきと暮らせるまちを目指します。      このまちを たがいに助けあう 優しいまちにしたい      このまちを みどりに満ちた 美しいまちにしたい      このまちを ゆめの広がる 楽しいまちにしたい      このまちを こころ豊かな 学びあいのまちにしたい</p> <p>因みに、「広報・西東京」には、冒頭に「やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ」と書かれているながら、前記の市民憲章が掲載されていませんが、他のまちでは「市報」や「町報」に「市民憲章」や「町民憲章」の記載されている例が少なくありません。  <u>今般の「中間のまとめ」につきましても、基本理念に「ともにみらいにつなぐ やさしさとこいの西東京」とありながら、「西東京市市民憲章」には全く触れられておりません。</u>  <u>「西東京市市民憲章」の策定に関わった者の一人として、「制定20周年」を機に、改めて「西東京市民の志」を確認し、是非とも「第3次総合計画の序章」にして頂きたいと願わずにはいられません。</u></p>	<p>多くの点に気配りがなされており、大変立派な「案」だと思いますが、ただ一点、非常に残念なことは、「西東京市市民憲章に関する記載が全く無い」ことです。御承知かと思いますが、「西東京市市民憲章」は、来年の1月に「制定20周年」を迎えます。しかも、「本文・第一条」に「優しいまち」を掲げている市区町村の憲章は、他に殆ど例がありません。今般の「中間のまとめ」では、基本理念に「ともにみらいにつなぐ やさしさとこいの西東京」とありながら、「西東京市市民憲章」には全く触れられておりません。「西東京市市民憲章」の策定に関わった者の一人として、「制定20周年」を機に、改めて「西東京市民の志」を確認し、是非とも「第3次総合計画の序章」にして頂きたいと願わずにはいられません。</p>

No.	分類 (対象部分)	提出意見 (全文)	意見概要
75	その他	「西東京市市民憲章」に基づいた基本計画だと思いますが、 このまちを たがいに助けあう 優しいまちにしたい このまちを みどりに満ちた 美しいまちにしたい このまちを ゆめの広がる 楽しいまちにしたい このまちを こころ豊かな 学びあいのまちにしたい (H16年1月21日) 合併から22年 市民憲章は実現されているのでしょうか？	「西東京市市民憲章」に基づいた基本計画だと思いますが、合併から22年 市民憲章は実現されているのでしょうか？
76	その他	さらに、現在の公民館、図書館の職員は非常勤雇用が多いのが現状ですが、安定しない状態での勤務では、十分に専門性を発揮できないのではないかと思います。職員採用についても、費用の軽減だけを考えるのではなく、将来にわたっての大きな構想の中で考えていただきたいと思っています。	現在の公民館、図書館の職員は非常勤雇用が多いのが現状ですが、安定しない状態での勤務では、十分に専門性を発揮できないのではないかと思います。職員採用についても、費用の軽減だけを考えるのではなく、将来にわたっての大きな構想の中で考えていただきたいと思っています。
77	その他	小学3年生向け小冊子の作成について 小学3年生向けに作成される小冊子に、子どもにとって地域の特色や自慢になることも掲載しては如何でしょうか。ご参考までに機構の特色を記します。(詳細は機構にお問い合わせください) ・機構では食と農の持続性を求めて、食料の生産や効率化だけでなく、地域環境や生態系への負担を最小限にする、さまざまな研究を行っている。 ・国内有数の品種数を誇る蓮見本園や、農業の歴史を垣間見ることができる農場博物館がある。	小学3年生向け小冊子の作成について 小学3年生向けに作成される小冊子に、子どもにとって地域の特色や自慢になること(特に機構について)も掲載しては如何でしょうか。
78	その他	◎ 特に市の施策に入れて頂きたいのは、 『お一人様にやさしいまち』構築を具体化して頂きたい。 今 高齢化そして誰でも最後はお一人様。未婚の人も多い。都会では、コロナもあり親戚付き合いも過疎になっています。銀行の相続相談会に行っても姪や甥には世話になっていないから自分が亡くなったあと有効に財産を使いたいとか・・・ マンションを持っているが自分一人あと如何するかとか・・・ 最後は、如何しても他人にお世話になりかたづけて頂くしか有りません。 今、身内に頼れなくなっている状況があります。お金の有る人は、市に遺言遺贈ない人は、公助・共助で、お一人様でも安心して暮らせる仕組みを具体的に構築してください。小さい子どもだけ残されてしまい困る場合も考えられます。 いろいろな市民が最後まで安心して暮らせる様に 市の制度として考えて頂きたいです。  市の計画づくりは、大勢の市民が学び参加することにより、より実現可能になるでしょう!!!! よろしく願います。	特に市の施策に入れて頂きたいのは、『お一人様にやさしいまち』構築を具体化して頂きたい。 今 高齢化そして誰でも最後はお一人様。未婚の人も多い。都会では、コロナもあり親戚付き合いも過疎になっています。 今、身内に頼れなくなっている状況があります。お金の有る人は、市に遺言遺贈ない人は、公助・共助で、お一人様でも安心して暮らせる仕組みを具体的に構築してください。 いろいろな市民が最後まで安心して暮らせる様に 市の制度として考えて頂きたいです。
79	その他	内閣閣議決定(平成26年12月27日)の「まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合はいかに。	内閣閣議決定(平成26年12月27日)の「まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合はいかに。

No.	分類 (対象部分)		提出意見 (全文)	意見概要
80	その他		<p>当市としての行政の業務は基本構想のあるなしにかかわらずある。財政上、経常経費として計上される事項は、行政の業務執行の中核に該当することとなる。<u>当市に限らず、経常収支比率は90%以上となっている。当市の場合、令和3年度92.1%、令和2年度では99.9%とあり、ほとんどゆとりのない財政状況ではないか。</u></p> <p><u>このような財政状況であるから総花的な基本構想ではなく、めりはりのある、すなわち何に重点を置くのかを明確にすべきだと思う。</u></p> <p>何を目的、すなわち明日の日本、強いていえば、明日の西東京市の姿を目指す構想を明らかにすべきである。</p> <p>その中核は、内閣府の基本構想と一致し、大都市東京の西隣の都市としてあるべき姿として明確にすべきである。</p>	<p>当市に限らず、経常収支比率は90%以上となっている。当市の場合、令和3年度92.1%、令和2年度では99.9%とあり、ほとんどゆとりのない財政状況ではないか。</p> <p>このような財政状況であるから総花的な基本構想ではなく、めりはりのある、すなわち何に重点を置くのかを明確にすべきだと思う。</p>
81	その他		<p>意見4</p> <p><u>基本構想とは10年ごとに変わるものではない。前基本構想に問題とか当市の著しい変動、例えば、他市との合併、または分離などに行政上の変動などがないかぎり、次期へ引き継がれるものである。</u></p> <p><u>計画においては10年間の進捗によって、削除、発展、新規などの項目変動が生ずることとなるものである。</u></p> <p>内閣府の2020年度では、地域の特性を生かし、まち・ひと・しごと創生総合戦略を具体化として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少の克服</li> <li>・まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立</li> </ul> <p>政策の企画・実行にあたっての基本方針として</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 従来の政策の検証</li> <li>2. まち・ひと・しごとの創生に向けた政策の5原則</li> <li>3. 国と地方の取り組み体制とPDCAの整備</li> </ol> <p>そして 今後の施策の方向として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標</li> <li>しごととひとの好循環づくり</li> <li>しごととひとの好循環づくりを支えるまちの活性化</li> </ul> <p>そして 財政上の処置事項</p> <p>国家戦略特区・社会保障制度・税制・地方財政等について が記述されている。</p> <p><u>内閣府の当戦略は地域としては努力目標である。が、まち・ひと・しごと創生の構想を立案するうえで、参考とする以上に指針とすべき内容が盛り込まれている。</u></p> <p><u>再度、基本構想・基本計画案を立案する関係者に熟読することを勧める。</u></p>	<p>基本構想とは10年ごとに変わるものではない。前基本構想に問題とか当市の著しい変動がないかぎり、次期へ引き継がれるものである。</p> <p>計画においては10年間の進捗によって、削除、発展、新規などの項目変動が生ずることとなるものである。</p> <p>内閣府のまち・ひと・しごと創生総合戦略は地域としては努力目標である。が、まち・ひと・しごと創生の構想を立案するうえで、参考とする以上に指針とすべき内容が盛り込まれている。</p> <p>再度、基本構想・基本計画案を立案する関係者に熟読することを勧める。</p>